

国語研・名詞修飾構文の対照研究プロジェクト第1回研究会
(2016.7.9@神戸大学)

日本語の名詞修飾節の「ウチ」と「ソト」 主節現象・主節化に関して

堀江 薫

名古屋大学大学院国際言語文化研究科
(来年4月より文学部・人文学研究科)

horieling@gmail.com

1

本発表の内容

- 名詞修飾節の「内部(ウチ)」に生起する現象と名詞修飾節全体が主節という「外部環境(ソト)」で果たす役割に着目
- 日本語の名詞修飾節が内部的・外部的に主節(独立文)と密接な連続性があることを示す

2

本発表の関連論文

堀江薫(2015)「日本語の「非終止形述語」文末形式のタイポロジー—他言語との比較を通じて—」益岡隆志(編)『日本語研究とその可能性』開拓社, 133-167.

Horie, Kaoru (to appear) “The Attributive-Final distinction and the Manifestation of “Main Clause Phenomena” in Japanese and Korean Noun Modifying Constructions,”

Y. Matsumoto et al. (eds.), *Noun-modifying Clause Constructions in Languages of Eurasia: Reshaping Theoretical and Geographical Boundaries*. Amsterdam: John Benjamins.

3

1. 複文の類型論と日本語研究

- 複文の類型論的研究の知見に照らして日本語の複文、特に「名詞修飾節」の基本的特徴を確認する

4

1.1 複文の言語類型論研究の現状

- Syntactic complexity (統語的複雑性)への関心
Syntactic Complexity: Diachrony, acquisition, neuro-cognition, evolution (Givón and Shibatani, 2009, John Benjamins)
- 類型論:Cristofaro 2003, 堀江・パルデシ2009
- 歴史変化(文法化を含む):Bybee 2001
- 言語習得:Diesel 2000
- 文処理:Hawkins 2004, 2014
- 談話構造:Laurie and Suzuki 2011

5

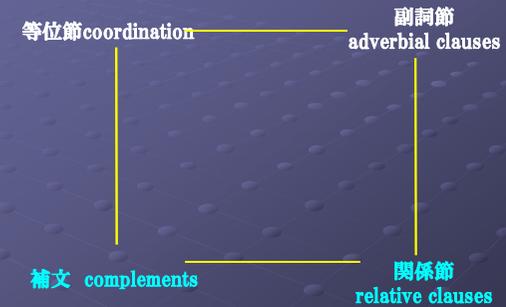


図1 言語類型論における複文の4類型

4つの複文タイプの事例：英語

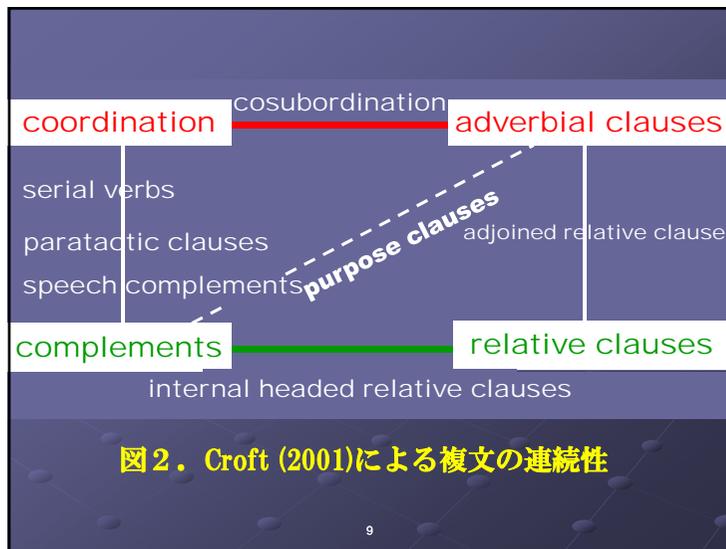
- 「関係節(relative clauses)」「補文(complements)」「副詞節(adverbial clauses)」「等位節(coordination)」
- (a) The news [*which* surprised everyone] was Nixon's resignation. (関係節)
 - (b) The news [*that* Nixon resigned] surprised everyone. (補文)
 - (c) [*When* Nixon resigned], everyone was surprised. (副詞節)
 - (d) [Nixon resigned] *and* [everyone was surprised]. (等位節)

日本語学と言語類型論の「複文」の捉え方

複文の「類型化」(カテゴリー化)の相違

連体修飾節 ≈ 関係節・補文,
連用修飾節 ≈ 副詞節・等位節

8



日本語の複文研究と類型論の複文研究の接点

I)「名詞修飾節」(寺村1992, Matsumoto 1997, Matsumoto, Comrie, and Sells to appear)

II)「補文(名詞節)」(近藤2000, Horie 2001, 2011)

III)「副詞節」(南1974, 1993, Foley and Van Valin 1984, 大堀2014)

- 日本語学の複文研究の主要な成果(抜粋)
- 日本語学のアプローチを主軸として、日本語史、コーパス言語学、語用論、言語類型論・対照言語学など様々な観点からの複文の研究が進められ、『日本語複文構文の研究』という論文集(益岡他(編)2014)(ひつじ書房)として出版
- 1995年に出版された『複文の研究(上・下)』(くろしお出版)以来の日本語複文研究の進展を反映

- ### 日本語の連体修飾節に関する主要先行研究
- 寺村秀夫の一連の研究(例:1992)、益岡(2000, 2009)、加藤(2003)、大島(2010)らによって主として統語的・意味的分析
 - 語用論的な観点:松本善子の一連の研究(松本1993, Matsumoto 1997), 加藤2003

「連体複文構文」 (益岡2014)

- 「連体複文構文」
- 従属節 (「連体節」 (adnominal clause)) と主節が連体節の被修飾名詞 (主名詞) を介して間接的に関係づけられる」構造
- 関係節・補文と対応

連体複文構文のタイプ分け

「関係節」タイプ (=「内の関係」)

(1) [明らかにされた] 事実

「補文」タイプ (=「外の関係」)

(2) [広島に原爆が投下された](という) 事実

2. 名詞修飾節の「ウチ」:

主節現象(main clause phenomena)を中心に

- 1970年代に生成意味論研究者らが主として英語を対象として分析(例:Green 1976)
- (3) 倒置(inversion), (5) 主題化(topicalization) のように主節に典型的に生起する現象
- 従属節の命題が前提(presuppose)されている場合 (4a, 6a)は生起不可
- 断定(assert)されている場合は許容(4b, 6b)(Hooper and Thompson 1973)

15

主節現象と「前提」 vs. 「断定」

- (3) Into the classroom rushed three boys trembling with fear.
- (4) I *{(a)*?know/(b)assert}* [that into the classroom rushed three boys trembling with fear].
- (5) This book, I will never, ever read.
- (6) I *{(a)*?regret/(b)insist}* [that this book, I will never, ever read].

16

2.1 日本語複文の「ウチ」： 従属度・階層性に関する研究

- 日本語の複文構造の内部の生起要素に関する研究：三尾(1942)、三上(1953)などの先駆的研究を嚆矢とし、南(1974, 1993)によって進展
- 南(1974, 1993)：「どのような要素が従属節の内部に生起可能か」という観点から、最も制約の強いA類から、中間的なB類、C類を経てD類の引用節という最も主節に近い従属節に至る従属節の階層モデルを提示

17

丁寧形との共起制限

- 三尾(1942)：丁寧化百分率
- | | |
|-----|-------|
| が節 | 94.5% |
| けど節 | 86% |
| から節 | 73% |
| し節 | 58% |
| ので節 | 28% |
| と節 | 7.3% |

18

三上(1953)：陳述度と丁寧形

- 主節末が丁寧形するとき、従属節の述語部分も丁寧形になるか：丁寧形になる従属節(a)は、ならない従属節(b)よりも文らしさ(陳述度)が高い。

(7) (a) 太郎が部屋に入り**まして**、明かりをつけました。

(b) 太郎が部屋に入り(***まし**)、明かりをつけました。

19

南(1974, 1993)の従属節の階層的類型： 「丁寧形」の生起と従属度の相関

- A類(～ながら(同時性)、～つつ、～て(継起)、～(連用)中止形(継起)等) *丁寧形
- B類(～のに、～ので、～ながら(逆接)、～と、～なら、～たら、～て(並列・理由)、～ても、～(連用)中止形(並列・理由)等) (丁寧形)
- C類(～が、～けど、～から、～て(逆接)、～(連用)中止形(逆接)、～し等) 丁寧形
- D類：直接引用節 丁寧形
→ 主節(独立文) {丁寧形～非丁寧形}。(文末)

20

2.1.1 日本語名詞修飾節における主節現象

- 主節(独立文)に特徴的に生起

- 「主題」を示す係助詞「は」

- 述語の「丁寧形(敬体)」

従属度の高い名詞修飾節においては「主格助詞」・普通形(常体)」に変換

- (8) (a) 兄はそのことを何も知りませんでした。
(b) [兄がそのことを何も知らなかった]ことを知りました。

21

現代日本語の「普通形(常体)」述語 vs. 「丁寧形(敬体)」述語

- (9) (a) 連体形:[知らなかった]事実
(b) 終止形:私はその事実を知らなかった。(=常体)
- (10) (a) 連体形:*[知りませんでした] 事実
(b) 終止形:私はその事実を知りませんでした。(=敬体)

22

南(1987)の観察: 連体修飾節における丁寧形の生起

- (11)(a)[きのうさし上げましたえび]はもうおあがりになりましたか。

- (b)[こちらからお送りします用紙]に御署名御捺印の上お返し下さいませ。

23

Matsumoto (2009)

- 慣習的な改まり(conventional formality)が好まれるサービス産業の対顧客といったコンテキストで使用

- (12) [お申込みになりました]カードを発行させていただきます。(p.296,原文ローマ字)

24

韓国語の上称形(日本語の「敬体」に部分的に対応)
:名詞修飾節では生起不可

- (13) * [ecey tulye-ss-supnita-ten]
[어제 드렸 -습니다던]
昨日 差し上げる-過去-上称-過去 (回想) 連体
saywu-nun pelsse tusye-ss-supni-kka.
새우-는 벌써 드렸 -습니-까.
えび-題目 もう 召し上がる-過去-上称-疑問

「きのうさし上げましたえび」は、もうおあがりになりましたか。」 (堀江2001: 201)

25

日本語の「敬体」の特異性:韓国語との対比で

- 丁寧形(=敬体)が「主節」の文末を決定する安定的な指標(主文専用形式)と言えるか?
- 日本語:否。必ずしも言えない 連用修飾節(B~C類)はもとより名詞修飾節にも生起可能,主節から従属節への拡張が容易
- 韓国語:概ね言える(例外は非常に限定的) 主節から従属節への拡張は厳しく制限 名詞修飾節は生起不可

26

日本語の「連体形」の史的 위치づけと
スピーチレベル形態との対比で

- 日本語の述語の「連体形」の機能拡張:
独立した終止形(例:「落つ」「白し」)が消失
=====→
 - 現代日本語の文末の「常体」表示形式としての述語「終止形」=「連体形」(形容動詞・コピュラを除き)
- (14) (a) 連体形:[知らなかった]事実
(b) 終止形:私はその事実を知らなかった。
(=常体)

27

韓国語:終止形≠連体形

- (15) (a) 連体形: [iss-un] chayk ([있-은] 책)
ある-過去連体-本 「あった本」
- (a') 連体形:*Chayk-i iss-un.(책-이 있-은.)
本-が ある-過去連体
- (b) 終止形: Chayk-i iss-ess-ta. (책-이 있-었-다.)
本-が ある-過去-陳述:下称
「本があった。」

28

「定形性」(finiteness) を決定する文法カテゴリ

東アジア言語(例:日韓語)の主節現象も考慮:

- Tense (時制)
- Illocutionary force (発話の力)
- Person (人称)
- Politeness (丁寧さ)

(Bisang 2007)

29

通言語的に見た日本語の主節現象

- ヨーロッパ言語の「定形性」(人称・性・数などと連動)は異なるが、「主題」「丁寧さ」「終助詞」など主節に典型的に見られる現象が存在(韓国語と共通)

東アジア言語・東南アジア言語の孤立型言語(例:中国語, タイ語)に比べると、述語の形態変化があり、「主節」「従属節」の区別がより明示的

30

日本語の主節/従属節の区別の非明示性を生かした名詞修飾節

- 従来の「引用節」+名詞:
「という」「との」といった媒介形式(引用辞)が必要
(16)「来た!」*(という) 叫び声

→ 近年インターネット等で媒介形式が希薄化した名詞修飾節が観察

31

直接会話修飾節(メイナード2008)

- (17)
- (a) [ご主人さまが2年間の長期の旅から帰ってきましたよ], なイメージ
 - (b) [どうしましたか], の問い
 - (c) [来た!]感強まる。

32

上称形の生起可能な (引用節以外で)唯一の従属節

- (21) [capci-nun iss-supnita-man],
[잡지-는 있-습니다-만],
雑誌一題目ある一上称-MAN

sinmwun-un eps-supnita.
신문 -은 없-습니다.
新聞一題目 ない一上称
「雑誌はありますが、新聞はありません。」

37

37

英語の「主節的」な関係節 (前置修飾である点が重要)

- (22) Dan: You're referring to *the recent "not fun" event... also known as "the You two share a brother, oh, no, you don't!" rollercoaster.*

(Gossip Girl: Season 2, Episode 16 "You've Got Yale!" (19 Jan. 2009;

<http://www.imdb.com/title/tt1266851/>)

(横森大輔氏, 直話)

38

まとめ:日本語名詞修飾節のウチ 主節現象が広範囲に観察

「ご購入いただき**ました**」航空券は、お手元にありますか?

[従属節(例:名詞修飾節)]

[主節]



図3 主節から従属節への機能的拡張(主節現象)

39

主節現象とジャンル・動機付け

- 丁寧形の生起:改まった場面での話し言葉
(慣習化した待遇場面)

動機づけ:ポライトネス

直接引用・類似引用節の表象:書き言葉
(インターネット文体, ライトノベル文体等)

動機付け:臨場感の喚起

40

3. 名詞修飾節の「ソト」:主節(独立文)化

Insubordination(「従属節の主節化」)
「形式的には一見明白な基準で従属節の
ように見えるものの慣習化された主節用法
("the conventionalized main use of what,
on prima facie grounds, appear to be
formally subordinate clauses")」(p.367)

日本語学:「言いさし」

白川(2009):「言いさし」 (副詞節・等位節の主節化)

- (i)ケド節.
- (ii)カラ節.
- (iii)タラ節.
- (iv)レバ節.
- (v)シ節.
- (vi)テ節.

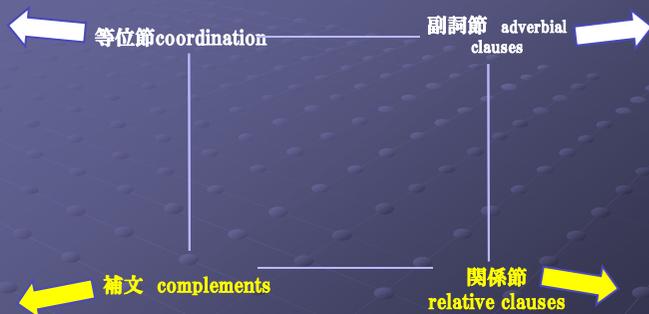
- (23)
- (a) [ちよつと、煙草買うてくる]から.
 - (b) [会議がもう始まるそうです]けど.
 - (c) [目が乾く]し!

日本語では「主節化」現象が全ての
種類の複文において観察される
(名詞修飾節も含め)

南(1984, 1993)のA類~D類と主節化

- (24) A類(~て(継起)、等)
- (a) 早く帰って。
 - (a') 早う帰^り。(関西方言)。
- B類(~のに、~ので、~たら、~ば等)
- (b) 急いで買った{のに、ので}。
 - (b') 急いで{買ったたら、買ったば}。
- C類(~が、~けど、~から、~し等)
- (c) 急いで買った{が、けど、から、し}。
- D類:直接引用節
- (d) 知らないって。

従属節の主節化



3.1 「内」の関係の名詞修飾節(「関係節」)タイプの主節化: 書き言葉

- (25) レンコ,バス停に止まっていたバスに飛び乗る。閉まるドア.
- 坪本 (2014)によれば,「タイミングにかかわる「臨場感」や「現場性」が反映している構文連鎖」(p.61)であり,脚本のト書きでよく用いられる構文であることから「ト書き連鎖」とされている
- (25)「閉まるドア」はドアのタイプではなく,同じドアの開いた状態から閉まる状態への変化の一瞬を切り出したものである」(p.61)

46

関係節(「内」の関係の名詞修飾節)の主節化=名詞句独立文

- Matsumoto(in press)によれば「形式ばらない,喚情的で相互行為的な書きもの(“informal emotive and interactional writing”); Matsumoto, in press)
- 宣伝広告,ブログ,エッセイ,フィクション,ノンフィクションなどに用いられるほか,新聞報道(大西 2013)においても用いられる

47

- (26)「やわらかで上品な甘味を醸し出す」,淡い茶色の砂糖.
- (27)「先がすぼまった」,微妙な形のイイホシユミコさん作のカップ.「一見アンバランスなようで,緻密に計算しつくされた」フォルム.(石黒 2007: 166)
- (28)「消防官になれる?!」ガイド (Matsumoto, in press)
- (29)桜井署によると,現場は「遮断機や警報機がない」踏切.

独立「関係節」の談話機能

- 通常の「関係節」: 主節の中に埋め込まれており, その場合背景的情報(前提)を表すことが多い
- 主節を欠く「関係節」: 必ずしも背景的情報を表してはいない。

独立「関係節」の談話機能

- 「これから生じる事象や行為のための舞台を整えるのと同様のやり方で, 談話の領域に際立った属性を有する指示物を導入する(“to introduce to the domain of discourse referents with the highlighted attributes (described in the clause) in a manner analogous to setting a stage for events and actions to occur”)」 (Matsumoto (in press))

50

新屋(2014): 名詞句独立文

- 「単に素材を提示しただけという形式」
- 「名詞句独立文は文末のモダリティの形式を欠き, 肯否のカテゴリも持たない。素材の意味は文脈に委託される。」
- (30) a. 「世界がオレを待っているのに, 家で子供の相手なんかしてられるか」と言って, 二十年間育児を放棄し続けた私の夫。(文藝春秋80巻10号)
- b. 私の夫は「世界がオレを待っているのに, 家で子供の相手なんかしてられるか」と言って, 二十年間育児を放棄し続けた。(新屋2014: 216-217) (客観的・中立的記述)

新屋(2014)の考察

- 名詞句独立文は「末尾名詞の指示対象の存在を印象付けようという情意的な表現性に重心を置いている。連体部に表された事態・性状によって引き起こされた感嘆の気持ちを込めて名詞の指示対象を提示する形式である。非難, 共感, 賛嘆, 驚きなどの情意を誘発するものは連体部に表された事態である。」(p.218)

喚体句(山田文法)

- 「主語-述語」の形式を使用せずに体言を提示して結びとする文の修辞法

(31) 新鮮な空気!

- 主として感動や希望を表現する際に用いられ「感動喚体句」と「希望喚体句」に分類
- 山田は、喚体句が「主語-述語」の関係がなくとも文の体をなしている点に着目

53

韓国語における「喚体句」

生越(2002: 85): 日本語と同様「発見」や「驚き」を伝達

使用条件: (i)「話し手の判断を含まない客観的な描写をする場合」(ii)「何を話題にしようとするのが、話し手と聞き手の間であらかじめ了解されている場合」(p.93)

(32)a. あっ、[赤い]鳥(だ)!

b. A, [ppalka-n] say-ta!

아, 빨간 새다!

赤い-連体形語尾 鳥-指定詞

日本語の「喚体句」との相違

(33)(AB2人で道を歩いていると、向こうから人が歩いてきた。
かわいい子犬を連れてくるのに気づいて)

- a. かわいい子犬!
- a'. あの子犬かわいい!

b. ?Cham kwiyeu-n kangaci.
? 참 귀여운 강아지.
本当に かわいい-連体形語尾子犬

b'. Ce kangaci cham kwiyeu-ta.
저 강아지 참 귀엽다.
あの 子犬 本当に かわいい-終結語尾
(p.84; 例文の配列・グロスを一部修正)

主観的な判断を含む場合: 韓国語の名詞句独立文は容認性が低い

- (32)の場合、「赤い」という客観的な描写に用いられる形容詞が用いられているため韓国語の名詞句独立文(32b)が成立

- 一方(33)の場合、「かわいい」という形容詞が話者の主観的な判断を含むため名詞句独立文(33b)が成立し難く、通常の述語文(33b')に変換されなければならない。日本語の名詞句独立文(33a)はこのような使用上の制約がない。

インドネシア語の単独関係節： 独立文に近い性質

(34) *Selebihnya adalah teman baikku.*

(先行文脈部分:グロス省略)

「ほかは私の親友。」

Trapani misalnya, [yang duduk di pangkuan ibu-nya], atau
トラパーニ 例えば 関係詞 座る で 膝 母-3人称 又は
Kucai [yang duduk di samping ayah-nya], atau *Syahdan*
クチャイ関係詞 座る で そば 父-3人称 又は シヤダン
[yang tak diantar siapa-siapa]. (Hirata 2013:3-4)
関係詞 ない 送られる 誰-誰

「[母親の膝の上に座っている]トラパーニ、[父親の隣に座っている]
クチャイ、[誰も付き添いのない]シヤダン。」(加藤ほか2013:15)

ウィジャヤ・堀江(準備中)

- (34)における単独関係節の修飾節([]の部分)は、主名詞「トラパーニ」「クチャイ」「シヤダン」に関する背景的情報を与えるというよりは「トラパーニは母親の膝の上に座っている」「クチャイは父親の隣に座っている」「シヤダンには誰も付き添いもない」という状況描写の機能を果たしている。
- 坪本(1999:33)が述べるところの「場面の状況を描写し、登場人物の行為や場面や状況のイメージを描きやすくしてくれる」という機能に相当

インドネシア語の単独関係節:独立文 に近い働きをする

(35)

*Tiba-tiba saya merasa berada di suatu negeri asing yang dihuni oleh
segumpal dan setumpuk kemiskinan yang menyayat hati.*

(先行文脈部分:グロス省略)

「突然私は、心痛む貧者でみちあふれた外国にいるような気がした。」

Suatu negeri [yang begitu jauh namun juga begitu dekat karena
ある 国 関係詞 とても 遠いでも も とても 近いから
hanya beberapa kilometer saja dari Wanagalih].
だけ いくつか キロ ばかり から (Kayam 1992:102)
「その国はたいへん遠いがとても近いワナガリからわずか数キロ
離れているだけである。」(後藤ほか2013:154)

直訳:「ワナガリからわずか数キロ離れているだけだからとても近い
がたいへん遠い」ある国。

日本語でも不可能ではないが主節 (独立文)に変換した方が自然

(35') 突然私は、心痛む貧者でみちあふれた外国にいるような気がした。

「ワナガリからわずか数キロ離れているだけだからとても近いがたいへん遠い」国。

「その国はたいへん遠いが、とても近いワナガリからわずか数キロ離れているだけである。」(後藤ほか2013:154)

フィンランド語の単独関係節： 話し言葉で頻用 (Laury 2013)

- 通常の関係節と異なり、主要部の指示対象が先行文脈で言及されることなく即時的に創出されるという点で「叙述(predicating)」機能を果たす

(36)

Missu: *KUka:h*

だれ 「誰(のこと)?」

Vikke: *se mikä on se-n, (0.3) se-n, se-n*

指示詞 関係詞 is 指示詞-属格 指示詞-属格(くりかえし)

poliisi-m [poika]

警察-属格 息子

「あの、あの、あの警官の息子の(人よ).」

「補文タイプ(外の関係の名詞修飾節)」の主節化

語彙的な名詞を主要部とするもの：報道文体等

(37)[このほかにも複数のバスの乗客がけがをしている]模様。(2012-7-25;読売新聞;大西2013: 25)

(38) [太陽光発電の将来性と実用性について国が認めその普及をバックアップしよう]という意図。

「補文」タイプ：語彙的意味が希薄化した名詞を主要部とするもの

(39) [花子が合格した]由。(大西2013)

(40)[よくもそんな図々しいことが言えた]

こと!

(41)[黄色のが跳べたんじゃない]の。(堀江2014)

英語の補文タイプ：語彙的主要部の場合はコンピュータを随伴する必要がある

(42) (**The fact*) *that* I should live to see such ingratitude!

(43) Paul admitted. “But that’s not the point. *The point *(is) that* there’s magic in his name.” (Shibasaki 2014: 80)

主節(独立文)化

[名詞修飾節] → [主節]。

[閉まるドア] (を見た)。
→ [閉まるドア]。

図4 名詞修飾節の主節(独立文)化

65

主節(独立文)化と ジャンル・動機付け

- 関係節タイプ(「内の関係」タイプ): 書き言葉
(報道文体・宣伝広告・シナリオ・小説等)

動機づけ: 臨場感・主観的な感情の喚起等

- 補文タイプ(「外の関係」タイプ): 書き言葉
(報道文体等)・話し言葉

動機付け: 臨場感, 説明・確認・指示
等様々な語用論的な場面の要請

66

まとめ: 日本語名詞修飾節の 通言語的な面白さ

- 日本語の名詞修飾節が「内部」および「外部」
において「主節(独立文)」との密接な連続性
を示す点
- 名詞修飾節と独立文(主節)の連続性: 相対
的に他言語よりも顕在的

67

謝辞

- 本研究は国語研「名詞修飾構文の対照研究」プロジェクト経費及び以下の研究費の
支援を受けて行われています。
- 科学研究費(基盤研究(C)): 課題番号
16K02624「中絶節の語用論的機能に関
する通言語的対照研究: 連体・準体節と連
用節の対比を中心に」
(代表: 堀江薫)

68

参考文献

- Comrie, Bernard and Kaoru Horie (1995) "Complement Clauses versus Relative Clauses: Some Khmer Evidence," *Discourse Grammar and Typology. Papers in Honor of John W.M. Verhaar*, ed. by Werner Abraham, Talmy Givón, and Sandra A. Thompson, 65-7. John Benjamins, Amsterdam & Philadelphia.
- Evans, Nicholas (2007) "Insubordination and its Uses," *Finiteness. Theoretical and Empirical Foundations*, ed. by Irina Nikolaeva, 366-431. Oxford University Press, Oxford.
- 後藤乾一・姫本由美子・工藤尚子 (翻訳) (2013) ウマル・カヤム『サストロダラソノ家の人々ージャワ人家族三代の物語』段々社, 東京.
- Hirata, Andrea (2013) *Laskar Pelangi*. Yogyakarta: PT Benteng Pustaka.
- Horie, Kaoru (2011) "Versatility of nominalizations: Where Japanese and Korean Contrast," *Nominalization in Asian languages. Diachronic and typological perspectives*, ed. by Yap, Foong Ha et al., 473-495. John Benjamins, Amsterdam & Philadelphia.
- Horie, Kaoru (2012) "The Interactional Origin of Nominal Predicate Structure in Japanese: A Comparative and Historical Pragmatic Perspective," *Journal of Pragmatics* 44, 663-679.

- 堀江薫(2014a)「主節と従属節の相互機能拡張現象と通言語的対称性」益岡隆志ほか(編)『日本語複文構文の研究』, 673-694. ひつじ書房, 東京.
- 堀江薫(2014b)「文末名詞化構文の相互行為機能: 日韓語自然発話データの対照を通じて」井出祥子・藤井洋子(編)『解放的語用論の挑戦』, 33-55. ころしお出版, 東京.
- Horie, Kaoru (to appear, a) "Subordination," *The Handbook of Japanese Contrastive Linguistics*, ed. by Prashant Pardeshi and Taro Kageyama. Walter de Gruyter, Berlin.
- Horie, Kaoru (to appear, b) "The Attributive-Final distinction and the Manifestation of "Main Clause Phenomena" in Japanese and Korean Noun Modifying Constructions," *Noun-modifying Clause Constructions in Languages of Eurasia: Reshaping Theoretical and Geographical Boundaries*. John Benjamins, Amsterdam & Philadelphia.
- 堀江薫・ブラシャント・バルデシ(2009)『言語のタイポロジーー認知類型論のアプローチ』研究社, 東京. (『認知言語学のフロンティアシリーズ』5巻)
- 石黒圭(2007)『よくわかる文章表現の技術Vー文体編』明治書院, 東京.
- Kayam, Umar, 1992. *ParaPriyayi - Schuah Novel*. Jakarta: PT Pustaka Utama Grafiti.
- 加藤ひろあき・福武慎太郎(翻訳) (2013) アンドレア・ヒラタ『虹の少年』サンマーク出版, 東京.
- 近藤泰弘(2000)『日本語記述文法の原理』ひつじ書房, 東京.
- 益岡隆志(2014)『日本語の中立形接続とテ形接続の競合と共存』益岡隆志他(編) (2014)『日本語複文構文の研究』, 521-542. ひつじ書房, 東京.
- Matsumoto, Yoshiko (1997). *Noun-Modifying Constructions in Japanese: A Frame-Semantic Approach*. John Benjamins, Amsterdam.

- Matsumoto, Yoshiko (in press) "Japanese Relative Clauses that Stand Alone," *Japanese/Korean Linguistics* 22.
- 南不二男(1974)『現代日本語の構造』大修館書店, 東京.
- 南不二男(1993)『現代日本語文法の輪郭』大修館書店, 東京.
- 生越直樹(2002)『日本語・朝鮮語における連体修飾表現の使われ方ー「きれいな花!」タイプの文を中心にー』生越直樹(編)『対照言語学』, 75-98. 東京大学出版会, 東京.
- 大堀壽夫(2014)『従属句の階層を再考するー南モデルの概念的基盤ー』益岡隆志他(編) (2014)『日本語複文構文の研究』, 645-672. ひつじ書房, 東京.
- Quirk, Randolph et al. (1985) *A Comprehensive Grammar of the English Language*. Longman, London.
- 大西美穂(2013)『文末が名詞で終わる報告・引用表現』『日本語用論学会第15回大会論文集』, 25-32.
- Raury, Litva (2013) "Uses of 'insubordinate' or 'suspended' clauses in spoken Finnish," Slide presentation handout, Nagoya University, March 4th, 2013.
- Shibasaki Reijirou (2014) "On the Development of *The Point is* and Related Issues in the History of American English," *English Linguistics* 31.1, 79-113.
- 白川博之(2009)『「言いざし文」の研究』ころしお出版, 東京.

- 寺村秀夫(1992)『連体修飾節のシンタクスと意味』『寺村秀夫論文集ー日本語文法編ー』, 157-320. ころしお出版, 東京.
- 坪本篤朗(1998)『文連結の形と意味と語用論』赤塚紀子・坪本篤朗『モダリティと発話行為』, 100-193. 研究社, 東京.
- 坪本篤朗(1999)『モノとコトから見た文法ー主要部内在型関係節と書き連鎖ー』『日本語学』18巻1号, 26-40
- 坪本篤朗(2014)『いわゆる主要部内在型関係節の形式と意味と語用論』益岡隆志他(編)『日本語複文構文の研究』, 55-84. ひつじ書房, 東京.
- ウィジャヤ・シルフィア・堀江薫(準備中)『インドネシア語の「独立関係節」の構造的・機能的特徴ー日本語との比較を通じてー』
- 山田孝雄(1908)『日本文法論』宝文館, 東京.